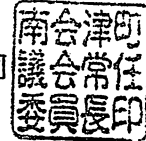




24 議委第46号
平成24年9月3日

南会津町議会議長 芳賀沼順一 様

総務委員長 五十嵐 司



所管事務調査報告書

1. 参加者 五十嵐司委員長 室井実副委員長 大桃英樹委員 渡部優委員 楠正次委員
芳賀沼順一議長
事務局 酒井直伸
2. 日 程 平成24年8月21日(火)
午後1時30分から
3. 場 所 議長室及びみなみやま観光株式会社
4. 目 的 商工観光の振興に関する事項
・学校法人「佐藤栄学園」会津田島寮閉鎖について(スポーツ交流)
・みなみやま観光株式会社決算状況について

5. 調査内容

(1) 学校法人「佐藤栄学園」会津田島寮閉鎖について

説明員 商工観光課 相原盛隆主幹 栗原三枝主査

学校法人「佐藤栄学園」は平成17年、校外施設「会津田島寮」を藤生字脳曾根地内に開設する。しかしながら、近年、会津田島寮を含めたセミナーハウス7校外施設の管理運営費が学校経営を圧迫しているとの理由から、平成25年3月末で全施設閉鎖が決定となった旨、本年8月、町当局に報告がなされた。

町当局は報告を受け、「会津田島寮利活用検討会」を立ち上げ、その活用の方針を探り、最終的に佐藤栄学園との協議によって決定する方針である。

(2) みなみやま観光株式会社決算状況について

説明員 みなみやま観光株式会社

渡部正男専務 渡部一夫常務 渡部章部長 渡辺稔之部長 湯田弘信総括課長
佐藤敏己総括課長

南会津町総務課

湯田文則課長 馬場秀成課長補佐 湯田賢史主査

第11期決算状況については、以下のとおり報告があった。

東日本大震災、それに端を発した福島原発事故の影響による風評被害、加えて新潟・福島豪雨災害等の影響によって厳しい決算状況となった。スキー場売上は福島県限定「雪マジ19」「雪マジふくしま」の企画によって前期とほぼ同額の売上高となった。

一方、宿泊売上と直販売上については対前期比で大幅なマイナスとなった。要因として宿泊部門では風評被害による学生団体客の大幅な減少にあり、県教育委員会主催事業「ふくしまっ子体験活動応援事業」等の積極的な誘客を図ったが、追いつかない結果となった。また、直販部門では都市圏での展示即売会等への積極的な出店により、南会津地方の安全・安心を発信したが、根深い風評被害により、誘客数が伸び悩み回復には至らなかった。しかし、東京電力の賠償金1億2,440万円の営業外収益に

よって85,138千円の黒字決算となった。

第11期決算（23年7月～24年6月）

単位：千円

勘定科目	第10期決算	第11期決算	比較	前期比
売上高	1,265,984	1,182,093	△83,891	93%
スキー場部門	341,496	335,851	△5,645	98%
宿泊部門	436,593	393,702	△42,891	90%
直売部門	386,738	351,392	△35,346	90%
観光部門	25,473	23,425	△2,048	92%
受託管理収入	73,879	76,658	2,779	104%
その他	1,805	1,065	△740	59%
売上総利益	833,008	785,022	△47,986	94%
営業利益	△157,047	△96,230	60,817	61%
経常利益	△75,586	86,624	162,210	
当期純利益	△81,282	85,138	166,420	

注：東京電力賠償金124,399千円は営業外収益に計上

6. 所 見

（1）学校法人「佐藤栄学園」会津田島寮閉鎖について

長引く景気の低迷や少子化による私立校の経営苦が原因と推察される。閉鎖後の利活用方策については、今後「会津田島寮利活用検討会」で検討、調整が進められるが、自然環境に恵まれた立地条件にあり、良好な活用策を期待するものである。

（2）みなみやま観光株式会社決算状況について

第11期決算については、東京電力賠償金によって黒字決算となったものの、依然、営業利益のマイナスが大きいことから、本年5月から8月まで実施された南会津町第三セクター経営評価委員会の検証による総合的な評価結果の答申を踏まえ、町当局とみなみやま観光株式会社が一丸となって抜本的な見直しを図り、さらなる経営管理・運営に努力されるよう期待するものである。